

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 12 月 1 日 No44

世のため人のため自分のために頑張る 凛とした学年



1年生はこのスローガンの下これまで学校生活に取り組んできました。行事やEJC、ボランティア活動はもちろんですが、授業も例外ではありません。家庭科では今年も1学期の終わりに「住生活と自立」について学習しました。福津市の福祉協議会の方にお手伝いいただいた授業を紹介します。授業のめあては「疑似体験を通して高齢者の特徴を知り、高齢者が安心して暮らせる住まいを考えよう」です。足腰が不自由な方、目が不自由な方と同じような体験（疑似体験）を通して、日常生活の中でどのようなことに困ってあるのかを住環境の面から考え

ていこうという学習です。左の写真は足と腰に負荷がかかる装具をつけ、荷物をもって廊下、階段の往復をしているところです。また、右の写真は視界が狭くなり焦点がぼやけてしまう装具をつけ掲示板の注意書きを読んでいるところです。このような実際の体験を通して生徒たちは多くのことに気づいていきます。普段の生活では全く疑問に思わなかった廊下や階段が、目や足腰が不自由なお年寄りにとってはどんなに危険なものであるのかよく



分かったのではないのでしょうか。頭で考えてわかることよりも、実際に体験してわかることの方がより深く理解することができます。この体験を受けて、グループごとに建物の図面とにらめっこです。テーマは建物の中にある危険個所です。どのグループも真剣そのものです。みんな高齢者の気持ちになりき

って話し合っています。そして、図面の中が見る見るうちに危険個所を示した付箋でいっぱいになりました。

この学習の成果を実際に高齢者の方に見ていただきました。その感想が届きましたので紹介します。まさに、

「世のため人のために頑張る1年生」です。



- ・自宅前の階段が年をとると大変に感じるようになりました。歩きやすいように階段や玄関、トイレの両側に手すりをつけています。文章も的を射ていて、とても良いと思います。
- ・整形外科の先生が言われるような専門的なことを書いてあり、親切にイラストまで描いてくれて分かりやすかったです。
- ・ドアの開閉方法まで、不自由な人の立場になって考えているなあと思いました。

